

初等数学講座開催報告

山口東京理科大学 小林 頌昌

2009年12月26日

龍遊館関係者様、

この度の数学講座の開催にあたり、まず皆様より頂きましたご協力に感謝をさせていただきます。我々研究生一同精進できるよう努力してまいりますので、以降につきましてもご支援のほどよろしくお願いいたします。

12月19日に行った数学講座についての報告をさせていただきます。

1 結果

1.1 参加者

参加者：小学生7名、保護者、龍遊館関係者、計15名

1.2 アンケート結果

小学生7名の内、5名が次回も受けたいと回答、た回答があった9名の内、9名が次回も受けたいとの回答、残りは無回答、内容が難しいとの指摘もありました。

2 考察

アンケートの結果から1月以降も継続が期待できると見ております。反省点としましては、講座の内容に難解な点があった点、同大学の教授より意味不明なスライドがある、等が挙げられます。60分の講座にて37枚のスライド及び5分程度の動画を用意したところ、ちょうど60分で終える事ができ、講座の構成につきましてはより完成に近づいていると見れます。

3 今後の予定について

3月末までの予定

- 開設日：主に土曜に講座を行う予定です。需要があれば日曜、木曜の開設も可能です。
- 定員：小学生15名で1グループ、保護者がカウントに含めませんが歓迎致します。1グループずつメンバーを固定し、講座を進行させます。
- 講座の時間は一回60分。

- 参加料：無料
- 毎月一回、もしくは新参加者が15名程度集まった時点で口座の概要を説明する日を設けます。
- 1コンテンツにつき1回か2回で完結する内容を行う予定です。現在4つのコンテンツを計画しております。
- 初めは月に1コンテンツ程度のペースで行う予定です。
- 苦手な人向けの講座も計画しております。1回で完結させる、なるべく数式を使わない等、計算練習はともかく、まず興味を持ってもらうことに徹する工夫を行います。

現在計画している主なコンテンツ

1. 地球を砂粒で満たすとしたら、砂粒は何個必要？
2. 人間の髪の毛は時速何 km で伸びるだろう？
3. 地球上には何本の草が生えているだろう？
4. 円周率 20 億桁を新聞に印刷したら、どれくらいの厚さになるだろう。